

# 区民の願いを区政に

医療を受ける権利を守れ

健康保険証は存続を



いわい桐子区議の一般質問

マイナ保険証のトラブルが報道される度に「保険証は今のままで！」と町では声が聞かれます。いわい桐子区議は、9月21日の本会議で、窓口で本人確認ができないケースや10割負担を求められたケースを示し「マイナンバーカードとの一体化による保険証廃止が医療を受ける権利を阻害している」と指摘して、区長の認識を質しました。区長は、「マイナンバーカードと保険証の統合、保険証の廃止については、課題も指摘されている。引き続き、安心して医療を受けられる環境の確保を国に求める」と答弁しました。

区議会第3回定例会には、医療関連団体も含めて4つの団体から「現行の保険証存続を求める陳情」が提出されました。いわい区議は「医療を受ける権利が守られず、保険証廃止は新たな負担がなく、国民にはメリットがない。そもそも、マイナ保険証は社会保障の抑制と財界のビジネスに個人情報情報を渡すものだ。」と厳しく指摘し陳情に賛成する討論を行いました。自民・公明・維新の反対で陳情は不採択となりました（各会派の態度は下表のとおりです）。この区議は「撤回や延期を求める国民に背を向ける姿勢は許せない。なんとしても保険証廃止をやめさせたい」と語ります。引き続き声を上げていきたいと思います。

— 陳情に対する本会議での「各政党会派の態度」は以下の通りです —

陳情第14号 健康保険証の存続を求める陳情

15号 現行の保険証の存続を求める陳情

16号 国に対し、現行の健康保険証を存続するよう求める意見書の提出を求める陳情

21号 健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める陳情

共産党	自民党	公明党	民主クラブ	維新の会	未来会議	参政党	無所属
○	×	×	○ 「国民」が 退席	×	○	○	○

不採択



給食は教育の一環

学校給食費無償化を  
恒久制度に

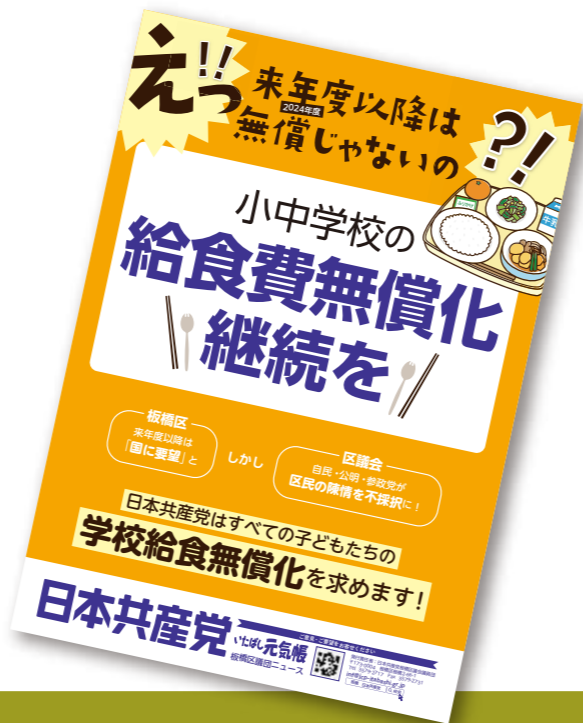
荒川なお区議の一般質問

板橋区では、9月から区立小中学校で学校給食費無償化が始まりました。しかし、同事業は、来年3月までであり、現在、来年度に向けて、物価上昇分を盛り込んだ値上げも検討されています。

荒川なお区議は、9月21日の本会議で、「学校給食は教育の一環であり、様々な社会情勢の変化に左右されず、給食の質を確保していくことが必要」と主張。そのうえで、保護者の教育費負担を軽減していくために、公費負担による制度化の実現を求めました。

教育長は「本来は、国が自治体間格差を生じることがないように検討すべきであり、引き続き国に対し財源措置を求めつつ、対応していきたい」と答弁しました。

共産党区議団は、すべての子どもたちの給食費無償化にむけ、引き続き取り組みます。



無償化になってよかったのは、もちろん経済的なことです。あとは、給食について子どもと話すことが増えました。美味しそうなメニューや栄養バランス、配膳の様子など聞くと教育の一環だということがよくわかります。  
(小学生と中学生を子育て中の方)



こんな声が寄せられています

給食費の無償化は、学校現場にとっても大きな意味があります。それは、区の給食費の予算が保護者を介さずに直接学校に配分されることです。先生方の事務負担の軽減にもつながります。みんなにとって安心して幸せな給食費無償化を来春以降も継続する必要があります。  
(都内の小学校に勤務の方)

